

「長野県の金融経済動向」（7月）の前回との比較

2017年7月

2017年6月

（総論）

長野県経済は、緩やかに回復している。	長野県経済は、緩やかに回復している。
--------------------	--------------------

（各論）

公共投資	横ばい圏内の動きとなっている。	横ばい圏内の動きとなっている。
住宅投資	持ち直している。	持ち直している。
設備投資	緩やかに増加しているものの、企業の投資姿勢にはなお慎重さがみられている。	緩やかに増加しているものの、企業の投資姿勢にはなお慎重さがみられている。
個人消費	一部に弱めの動きもみられるが、底堅く推移している。	一部に弱めの動きもみられるが、底堅く推移している。
生産	増加している。	回復している。
雇用・所得	着実な改善が続いている。	着実な改善が続いている。

1. 実体経済

（生産）

半導体関連・電子部品等	スマートフォン向けのほか、データセンターや生産用機械、自動車向けの受注の強まりから、生産は増加している。	スマートフォン向けが持ち直しているほか、データセンターや生産用機械向けの引き合いが強まっていることから、生産は回復している。
自動車関連	海外需要が総じて堅調なほか、国内需要が新型車等を中心に底堅いことから、生産は持ち直している。	海外需要が総じて堅調なほか、国内需要が新型車等を中心に底堅いことから、生産は持ち直している。
機械・同関連部品等	計器は、建設機械、半導体関連向けなどで生産は増加している。工作機械は、自動車や半導体関連の設備投資の増加を受け、生産は持ち直しているが、北米向けには足踏み感がみられている。成形機は、一部に弱さがみられることから、生産は横ばい圏内で推移している。バルブは、プラント向け需要が弱含んでいることから、生産は横ばい圏内で推移している。	計器は、建設機械、半導体関連向けなどで生産は回復している。工作機械は、自動車や半導体関連の設備投資の増加を受け、生産は持ち直しているが、北米向けには足踏み感がみられている。成形機は、一部に弱さがみられることから、生産は横ばい圏内で推移している。バルブは、プラント向け需要が弱含んでいることから、生産は横ばい圏内で推移している。
飲料	茶系飲料やミネラルウォーター類の需要に支えられ、生産は持ち直しつつある。	茶系飲料やミネラルウォーター類の需要に支えられ、生産は持ち直しつつある。

(個人消費)

大型小売店 売上高	5月是一部に弱さがみられるものの、底堅く推移している。	4月是一部に弱さがみられるものの、底堅く推移している。
家電販売	5月は前年を下回った。	4月は前年を上回った。
自動車販売	5月は前年を上回った。	5月は前年を上回った。

(公共・住宅投資)

公共工事請負金額	5月は国、県の発注分が増加したことから、前年を上回った。	4月は国、県、市町村、独立行政法人等の発注分が増加したことから、前年を上回った。
住宅着工戸数	5月は持家、貸家、分譲が増加したことから、前年を上回った。	4月は持家、貸家、分譲が減少したことから、前年を下回った。

(雇用・所得)

雇用・所得	有効求人倍率をみると、5月は新規求人数が増加したことから上昇した。所得面では、4月は一人当り名目賃金および常用雇用者数が前年を上回ったことから、雇用者所得は前年を上回った。	有効求人倍率をみると、4月は新規求人数が増加したことから上昇した。所得面では、3月は一人当り名目賃金が前年を下回ったものの、常用雇用者数が前年を上回ったことから、雇用者所得は前年並みとなった。
-------	--	--

(物 価)

消費者物価 (除く生鮮食品)	5月は前年を上回った。	4月は前年を上回った。
-------------------	-------------	-------------

2. 金 融

貸 出 金	5月は前年を上回った。企業向けは、運転資金需要が弱含んでいるものの、設備資金需要は持ち直している。個人向けは、前年を上回って推移した。こうした中、貸出約定平均金利は、緩やかに低下している。	4月は前年を上回った。企業向けは、運転資金需要が弱含んでいるものの、設備資金需要は持ち直している。個人向けは、前年を上回って推移した。こうした中、貸出約定平均金利は、緩やかに低下している。
預 金	5月は公金預金が前年を下回ったものの、法人預金、個人預金が前年を上回ったことにより、全体でも前年を上回った。	4月は公金預金が前年を下回ったものの、法人預金、個人預金が前年を上回ったことにより、全体でも前年を上回った。